

第122期
報告書

2019年4月 1 日から
2020年3月31日まで



日本甜菜製糖株式会社

証券コード：2108

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に罹患された方、またそのご家族や関係者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

当社グループは新型コロナウイルス感染症の拡大防止と事業継続の観点から、従業員の健康管理を徹底した上で、不要不急の出張等を見合わせるとともに、一部事業所において時差出勤と在宅勤務を実施、役職員の出勤を抑え、感染リスクの低減に努めております。

さて、当社は去る3月31日をもって第122期(2019年4月1日から2020年3月31日)を終了いたしましたので、ここにその事業の概況等をご報告申し上げます。



2020年6月

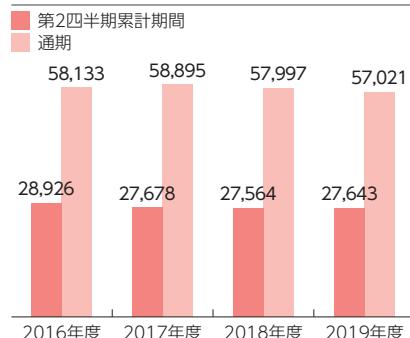
取締役社長 **恵本 司**

当連結会計年度のわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復が続いておりましたが、3月に入ると、新型コロナウイルス感染症の影響により、景気が大幅に下押しされる状況となりました。今後も感染症の影響

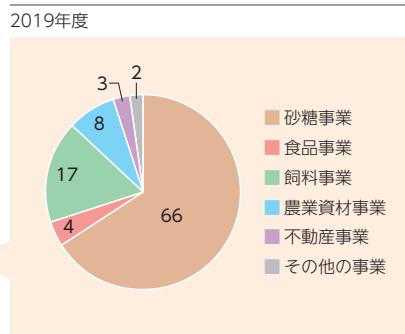
が続くことが懸念され、先行きは不透明な状況となっております。

当連結会計年度の売上高は、主に砂糖事業の売上の減少により、前期比1.7%減の570億2千1百万円となりました

売上高 (百万円)



売上高構成比 (%)



経常利益 (百万円)



が、主に飼料事業の増益により、経常利益は、前期比2.4%増の20億8千5百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比1.2%増の13億4千万円となりました。

2019年産の原料てん菜による製糖作業は、10月中旬より開始いたしました。昨年の原料てん菜は、5月に強風による被害が発生したものの、その後、好天となったことから生育が回復し、高品質原料を確保することができました。また、製糖資材使用の抑制を進めるなど高効率な製糖作業に努め、製造コスト削減を図りました。

砂糖業界におきましては、消費者の低甘味嗜好を背景に、安価な輸入加糖調製品や高甘味度人工甘味料の増加などから砂糖消費量は減少傾向にあり、厳しい状況が依然として続いております。2020年3月に農林水産省が公表した「砂糖及び異性化糖の需給見通し」では、2019年10月から2020年9月までの1年間の分蜜糖消費量を184万トンと見込み、前年同時期の消費見込から4万トン減少しております。

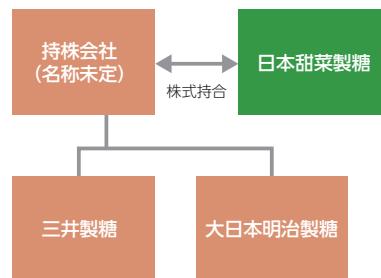
このように、当社グループの経営環境は砂糖消費の低迷に伴う販売の伸び悩みなど、極めて不透明であります。引き続きコスト削減及び適正価格での販売に努め、収益力の確保に取り組むとともに、国内砂糖の消費拡大活動についても取り組んでまいります。

本年3月25日開催の取締役会において、三井製糖株式会社と大日本明治製糖株式会社が経営統合することにより設立される持株会社（以下、本持株会社）と、資本業務提携に関し協議を開始することを決議しております。当社は本持株会社との資本業務提携を通じて、生産原料資源の確保、我が国砂糖産業全体の安定的運営への貢献を図り、本持株会社と共に、技術者の交流による生産技術の伝承や向上を果たし、引き続き地域経済に貢献し、我が国砂糖産業の健全な発展に貢献してまいります。

親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益 (百万円)



純資産/総資産 (百万円)



※経営統合により三井製糖(株)と大日本明治製糖(株)の2社は持株会社体制へ移行予定(2021年4月1日(予定))
※当社は資本業務提携を予定(時期未定)

セグメント別の概況

砂糖事業

事業内容 | ビート糖、精糖、
ビート糖蜜、精糖蜜 等



■ ビート含蜜糖



■ 北海道オホーツク
ビートグラニュー糖

ビート糖の販売量は、原料糖の生産増加に伴い増加しましたが、販売価格の下落により売上高は前期並となりました。精糖は、業務用の販売量が堅調に推移しましたが、売上高は販売価格の下落により前期を下回りました。砂糖事業の売上高は、377億2千9百万円(前期比1.6%減)となり、販売価格の低迷と、ビート糖のたな卸資産評価損の影響が大きく、6億1千3百万円の営業損失(前期は4億7千万円の営業損失)となりました。

食品事業

事業内容 | イースト、オリゴ糖等食品素材
(オリゴ糖、ベタイン 等)、
その他食品



■ 北海道どさんこオリゴ

イーストは、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う外出自粛の影響で学校給食パン用の落ち込みはあったものの市中パンの伸びもあり、販売量、売上高ともに前期を上回りました。オリゴ糖等食品素材は、ベタインやオリゴ糖の販売量が減少し、売上高は前期を下回りました。食品事業の売上高は、22億7千8百万円(前期比10.6%減)となり、7千万円の営業損失(前期は5百万円の営業損失)となりました。

飼料事業

事業内容 | 配合飼料、
ビートパルプ 等



■ コウシのミカタ
(新パッケージ登場)

配合飼料は、販売量、売上高ともに前期を上回り、また、穀物価格の下落等により製造コストが低下しました。ビートパルプは、販売量、売上高ともに前期を上回りました。飼料事業の売上高は、97億1千4百万円(前期比1.9%増)となり、営業利益は9億2千9百万円(前期比41.2%増)となりました。

農業資材事業

事業内容 | 紙筒(ペーパーポット®)、農業用機械器具、
農業資材、種子 等



■ ビート用紙筒
(移植栽培用育苗鉢)

紙筒(移植栽培用育苗鉢)は、国内の売上は減少しましたが、輸出の増加により、売上高は前期を上回りました。
農業機材は、移植機材・播種機材ともに軟調となり、売上高は前期を下回りました。
農業資材事業の売上高は、44億5千1百万円(前期比3.9%減)となり、営業利益は4億1千万円(前期比16.6%減)となりました。

中国におけるビート(甜菜)栽培機械化普及事業への技術協力について
当社と子会社サークル機工(株)は、中国の内蒙古天圃農業科技発展有限公司が取り組むビート栽培の機械化普及事業に対し技術協力することとなりました。



不動産事業

事業内容 | 不動産賃貸 等



■ 帯広市稲田町 複合商業施設

不動産事業は、売上高、営業利益とも、ほぼ前期並となりました。
不動産事業の売上高は、15億3千4百万円(前期比0.3%増)となり、営業利益は、8億5千2百万円(前期比2.3%増)となりました。

その他の事業

事業内容 | 貨物輸送、石油類販売、
書籍販売、スポーツ施設営業 等



■ 十勝鉄道株式会社
(トラック輸送)

その他の事業は、スポーツレジャー施設および書籍販売の売上が減少しましたが、貨物輸送の増加等により利益は増加しました。

その他の事業の売上高は13億1千2百万円(前期比7.4%減)となり、営業利益は1億1千3百万円(前期比93.8%増)となりました。

中期経営計画 / SDGs

中期経営計画

当社は社是「開拓者精神を貫き、社会に貢献しよう」のもと、てん菜・てん菜糖事業の継続、さらに各事業を成長させ、砂糖事業・不動産事業に続く第2の柱を構築し、社会的責務を果たしてまいります。

2021年3月期から2023年3月期(第1次日甜グループ中期経営計画)は下記2点を骨子とし、財務目標達成に向け邁進してまいります。

- 省力化、効率化、環境・品質対策を通じて、砂糖事業のコスト低減を目指す
- 第2の柱として、食品事業(ドライイースト、オリゴ糖)、飼料事業(配合飼料)、農業資材事業を成長事業と位置づけ

単位：百万円

	2020年3月期	2023年3月期	増減額	増減率
売上高	57,021	58,300	1,278	+2.2%
経常利益	2,085	2,700	614	+29.5%
当期純利益	1,340	1,830	489	+36.6%

売上高経常利益率	3.7%	→	4.6%
株主資本利益率(ROE)	2.0%	→	2.6%

SDGs

当社は社是「開拓者精神を貫き、社会に貢献しよう」のもと、てん菜糖事業・食品事業・飼料事業・農業資材事業等を通じ、持続可能な社会の実現のため、チャレンジを続けてまいります。

北海道畑作農業の維持・発展へ

北海道畑作農業の基幹作物であるてん菜の効率的な生産体制に適時的確な支援を行い、生産者の持続的な経営に寄与



製糖所における環境配慮への取り組み

- CO₂排出抑制として、ビートパルプ蒸気乾燥設備の導入及び嫌気ガスの有効利用
- 廃棄物削減対策として、製糖工程での不純物除去後の残渣(ざんざ)であるライムケーキを畑地の土壌改良剤として有効利用



環境に配慮した輸送

- CO₂排出量の少ない鉄道輸送を活用
➡ エコレールマーク取得



てん菜の有効活用

- てん菜から、砂糖はもとより、オリゴ糖やアミノ酸等てん菜に含まれる様々な有用成分を製品化
- てん菜の繊維質のビートパルプを牛用飼料に活用

会社概要・株式情報 (2020年3月31日現在)

会社概要

商号	にっぽんでんさいせいとうかぶしきかいしゃ 日本甜菜製糖株式会社	
本社所在地	東京都港区三田三丁目12番14号	
設立	1919(大正8)年6月	
資本金	82億7,941万4,800円	
従業員の状況	企業集団の従業員数	730名
	当社の従業員数	588名
	※上記には臨時従業員は含まれておりません。	
子会社	名称	事業内容
	十勝鉄道株式会社	貨物自動車運送業
	スズラン企業株式会社	石油類・書籍販売およびスポーツ施設営業等
	ニッテン商事株式会社	食品卸売業
	サークル機工株式会社	農業用機械器具の製造販売
	土別スズランファーム株式会社	農産物の生産・販売

大株主

株主名	持株数	持株比率
明治ホールディングス株式会社	1,470千株	10.36%
ニッテン共栄会	924	6.51
株式会社みずほ銀行	705	4.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	640	4.51
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	552	3.89
農林中央金庫	514	3.63
東京海上日動火災保険株式会社	428	3.02
日本通運株式会社	320	2.26
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	283	2.00
三菱商事株式会社	265	1.87

(注) 1. 当社は自己株式1,125,641株を所有しておりますが、上記大株主の記載からは除外しております。

2. 持株比率は、自己株式数を控除して算出しております。

株式の状況

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	15,325,642株
株主数	12,324名

役員 (2020年6月26日現在)

代表取締役	取締役社長	恵本 司
取締役	専務執行役員	鈴木 良幸
取締役	常務執行役員	八巻 唯史
取締役	常務執行役員	木山 邦樹
取締役	常務執行役員	石栗 秀
取締役	(社外)	浅羽 茂
取締役	(社外)	橋本 秀一
取締役	(社外)	中村 規代実
常勤監査役		藤崎 裕之
常勤監査役		森山 英二
監査役	(社外)	村山 泰之
監査役	(社外)	増本 善丈
上席執行役員		佐渡谷 裕朗
上席執行役員		前田 孝幸
上席執行役員		小島 洋司
上席執行役員		寺澤 秀和
執行役員		田村 雅彦
執行役員		菊池 文夫
執行役員		林 政宏
執行役員		黒氏 信好

※ 本年6月より、執行役員制度を導入いたしました。



株主各位

証券コード2108
2020年6月26日

東京都港区三田三丁目12番14号

日本甜菜製糖株式会社

取締役社長 恵本 司

第122期定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本日開催の当社第122期定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

- 報告事項
- 第122期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 - 第122期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)計算書類の内容報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

- 第1号議案 剰余金処分の件
本件は、原案どおり承認可決され、期末配当金は1株につき50円(普通配当50円)と決定いたしました。
- 第2号議案 定款一部変更の件
本件は、原案どおり承認可決されました。
なお、定款変更の概要は、取締役の員数を13名以内から10名以内に変更し、執行役員制度の導入のため所要の変更を行うものであります。
- 第3号議案 取締役8名選任の件
本件は、原案どおり承認可決され、恵本 司、鈴木良幸、八巻唯史、木山邦樹、石栗 秀、浅羽 茂、橋本秀一(以上7名再任)、中村規代実(新任)の各氏が取締役に選任され、それぞれ就任いたしました。
なお、浅羽 茂氏、橋本秀一氏、中村規代実氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
- 第4号議案 補欠監査役1名選任の件
本件は、原案どおり承認可決され、大井倫太郎氏が補欠監査役に選任されました。

以 上

おって、本定時株主総会終了後に開催の取締役会の決議により、代表取締役 取締役社長として、恵本 司氏が選定され就任いたしました。

また、当社の取締役および執行役員の体制は、6ページに記載のとおりとなりました。

再 拝

期末配当金のお支払いについて

- 口座振込をご指定でない方には、「第122期 配当金領収証」および「第122期 配当金計算書」をご送付申し上げます。
期末配当金は、同封の「第122期 配当金領収証」により、払渡期間(2020年6月29日から2020年7月31日まで)内にお近くのゆうちょ銀行全国支店および出張所ならびに郵便局(銀行代理業者)でお受け取りください。
- 口座振込をご指定の方には、「第122期 配当金計算書」および「配当金振込先ご確認のご案内」を同封しておりますので、ご確認ください。
なお、株式数比例配分方式を選択された方は、配当金のお振込先や確定申告を行う際の添付資料等につきましては、お取引の証券会社等へお問い合わせください。

以 上

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.nitten.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)
上場証券取引所	東京証券取引所
単元株式数	100株
株主名簿管理人(特別口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 [無通話料]

<株式に関するお問い合わせ先>

当社株式を証券会社等の口座にお預けの場合

→お取引引きの証券会社等にお問い合わせください。

当社株式を証券会社等の口座にお預けでない場合(特別口座に記録された場合)

→三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-232-711 [通話料無料]

※未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の支店でお支払いいたします。

※配当金の受取方法については「ゆうちょ領収書払い」以外に銀行または証券会社の口座で受け取る「口座受取り」もご利用できます。

配当金のお振込みに関するご相談は、株式会社に関するお問い合わせ先へお問い合わせください。

日本甜菜製糖株式会社

ホームページ <https://www.nitten.co.jp>

